

たんぽぽ



41回生 4月 クラス交流会にて

書を抱いて町へ出よう

校長 塩川 哲男

北海道の短い夏が去って、秋が来た。「芸術の秋」「スポーツの秋」などとともに「読書の秋」もあるので、今回は読書について。

「なぜ働いていると本が読めなくなるのか」（三宅香帆）という本が売れているという。たしかに、私も定年退職する前は、専門書以外の本は本当に読めなかった。とくに小説はそうである。長編小説は時間と気力がないとなかなか読もうという気にならないものである。

私の人生を振り返って、一番本を読んだのはやはり大学時代である。もちろん医学の勉強もしたが、それ以外の本もいろいろ読んだ。「科学入門」（武谷三男）、「自然の哲学」（田中一）、「城砦」（クローニン）といった本が今も心に残っている。気の合った4〜5人の同級生とマルクスの「資本論」を読み合ったりもした。最近読んだ本で感銘を受けたのは「水俣病と医学の責任」（高岡滋Ⅱ熊本民医連医師）である。

先日、本校の一年生にこの夏休みに専門書以外の本を読んだか聞いてみたが、一冊も読まなかったという学生がほとんどで、予想していたとはいえず、ちよつと残念だった。

ところで本校には立派な図書室があつて、医学・看護学はもちろん社会学や文学もふくめ多数の蔵書がある（総計約1万冊、うち医学と看護学で4700冊）。近年はICTの発達で大学や市中の図書館も様変わりしているという。電子書籍（私は紙の本のほうが好きだが）のメリットも活かせない手はないだろう。

「書を捨てよ、町へ出よう」と劇作家寺山修司は言った。しかし、本は人生を豊かにしてくれることは確かだ。「書を抱いて町へ出よう」と呼びかけたい。

看護学科
41回生
(1年生)

新しい仲間と元気に 看護の学びを進めています

入学式



教室には
2年生からのお祝いの
メッセージ



入学生代表

クラス交流会 4月

4月に学年の先生とクラスで交流会をしました。クラス役員さんが企画してくれたゲームやクイズを、即席のチーム対抗で行いました。協力し合いながらゲームを進め、仲間の色々な一面を知る機会にもなり、楽しい時間となりました。



最後にオヤツ♡



アイスの
差し入れも!



チーム戦🔥



ゲームをして
交流を深めました



最後にみんなで☆

4月、39名の41回生が入学しました。慣れない学校生活に緊張した様子でしたが、クラス交流会や体育祭を通して仲も深まり、元気いっぱい学校生活を過ごしています。基礎看護学実習Ⅰ期では、病院施設やそこで働く職種について理解を深めることができました。看護師の仕事や近くで見学し、忙しい中でも患者さんを思う気持ちを忘れないことの大切さを学ぶことができました。

7月にはベッドメイキングの形成テストがありました。練習を重ねていましたが、技術習得の難しさを実感したと思います。専門的な学習は続き、様々な看護技術にも取り組んでいきます。クラスみんなで協力し、励ましあって、成長してほしいと願っています。

担任 小田 麻起子

基礎看護技術演習

春から様々な基礎看護技術を学んでいます。事前に先生の演習動画をタブレットで何度も見返し演習に臨み、練習を繰り返して上達しています。患者さん役を互いに経験しながら意見交流し、安全で安楽な看護技術についても学んでいます。次の実習での看護実践につなげていきます。



血圧測定



食事の
援助技術



事例に合わせた食事介助



リネン
交換

臥床患者さんの
リネン交換

コミュニケーション論の授業の様子

自分の背中のカードに
クラスメイトが印象を
どんどん書いてくれます



クラスメイトが
たくさん
コメントを
書いてくれて
いました



何が書かれて
いたかな💡

基礎看護学実習Ⅰ期 6月

初日は、看護部長や事務長から病院の機能や役割についてお話を聞きました。その後、グループに分かれて院内を見学しました。見えないところでもたくさんの職種の方や、病院が機能していることを学びました。看護師や他職種、患者さん、地域の方からお話を聞き、緊張もしていましたが、看護について考えを深める貴重な機会となりました。



電子カルテから情報を
素早く収集する看護師さん

師長さんから病棟について
説明をしてもらいました

病院事務長より
中央病院についての
説明を聞きました



実習を終えてクラスでゼミナールを行い、
グループごとの学びを交流しました

病院と共に地域の健康を支える
東健康友の会の役員さんから
グループごとにお話を伺いました



看護学科 40回生 (2年生)

看護の学びを仲間と 一緒に積み重ねています!!

地域・在宅看護論実習Ⅰ期

地域・在宅看護論実習Ⅰ期では、クリニックや診療所の見学、友の会活動への参加、地域の方へのインタビューなどを行いました。住み慣れた地域で暮らし続けるためのまちづくりや、看護の役割は何かを考え学ぶことができました。



楽しく地域の方と「ふまねっと」をしました。

お茶飲みませんか?



演習風景

臨床から来ていただいた医師や看護師より直接指導を受けました。グループに分かれて実践的に学びました。

心肺蘇生法演習



成人看護学実習Ⅰ期

成人看護学実習Ⅰ期では、労働体験や地域の方へのインタビューなどを行いました。生活や労働にも目を向けた看護の役割を学ぶことができました。



ドキドキのインタビュー

労働体験

配達する車にものりました。



保健指導

「健康診断の大切さ」について保健指導をしました。



40回生は5月に地域・在宅看護論実習Ⅰ期、7月に成人看護学実習Ⅰ期と2つの実習を頑張って終わることができました。地域の方々からたくさんのお話を聞いたり、体験を通して視野を広げ、看護とは何かを悩みながらも一生懸命考えることができました。

2年生になり専門的な学習やグループワークでの学習が増えましたが、1つ1つの学びを積み重ねながら大切に取り組んでいます。

秋には沖縄への研修旅行、老年看護学実習Ⅰ期があります。忙しい日々の中、仲間を大切に、仲間とともに看護について学び合い成長して行ってほしいです。期待しています。

担任 伊達 深晴

**看護学科
39回生
(3年生)**



**実習・国試・技ゼミに奮闘中
仲間とともにさらにパワーアップ!!**

39回生は5月から、小児、母性、精神、老年、地域・在宅と様々なフィールドと領域で実習を行っています。実習では、療養生活を支える支援や対象の願いを実現するための看護など、たくさんのことをチームとともに考え実践し、一人一人が看護についての学びを深めてきました。集団で学び合い切磋琢磨して取り組んでいる姿から、クラスとしてもたくましく成長していることを実感しています。後半の実習、国家試験とまだまだ道のりは長いですが、力を合わせクラス一丸となって乗り越えていってほしいです。

担任 森下 千鶴

母性看護学実習



赤ちゃんへ沐浴
気持ちよさそう♪



ミルク、
たくさん飲んでね



小児看護学実習 ～保健指導～

子どもたちは、
みんな真剣に
聞いてくれました!



「歯のはなし」



「目のはなし」



「生活リズムのはなし」

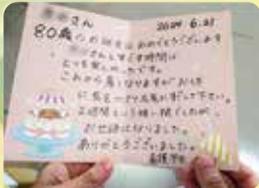
老年看護学実習II期



血行促進
のため、
足浴を実施
しました。



手作り
カレンダーを
お渡し
しました。



お誕生日カード



4月



**診療技術
ゼミナールI期**

「経管栄養」「輸液管理」「痰の吸引」「膀胱留置カテーテル」の4つの課題テーマについて、グループで学習し、技術獲得にむけて練習しました。



自治会 行事

体育祭

今年度、初めて「札幌市スポーツ交流施設コミュニティドーム(つどーむ)」で体育祭を行いました。学年対抗で各競技、手に汗握る熱戦を繰り広げました!!

新入生歓迎会

学校生活について先輩たちからアンケート形式にまとめられたスライドを使って紹介されました。質問コーナーもあり楽しみながら新入生も過ごしていました。自治会より1年生へプレゼントも送られました。



自治会役員 執行役員

自治会では体育祭や学校祭、学生からの要望を取り入れるなどの活動を行っています。

体育祭では学年間の交流もあり盛り上がりました。

今年もみんなで助け合いながら頑張っていきます。



執行委員長 杉田

手話サークル

手話サークルでは、昼休みや放課後の時間を活用して手話で自分の名前や挨拶の仕方、日常生活でよく使う単語、時には医療に関する手話などを学んでいます。

昨年の学校祭では、ドラマ「silent」の主題歌で話題となったOfficial髭男dismの「Subtitle」を手話で練習し、発表することができました。集まる機会を作るのはなかなか難しいですが、集まった際にはサークル全員で楽しく学ぶことができています。



サークル長 若狭



2年生の体育祭実行委員を中心に準備・運営、頑張りました!!



ランチタイム♪

午後もがんばるぞー!



障害物リレー



がんばるぞー!



バトンを~

玉入れ



そ~れ!



キックベース&ドッジボール



教員も頑張りました!

綱引き



借り人競争



先輩とダッシュ! ダツ~シュ!!



優勝 3年生



2位 2年生



3位 1年生



8月7・8日、オープンキャンパスを開催しました。両日、午前・午後の2部構成で行い、保護者の方も含めたくさんの方が参加してくれました。模擬授業の聴講やベッドメイキング、血圧測定などの体験コーナー、在校生との交流ブースなど、短い時間でしたが、勤看の魅力を発信することができました。協力してくれた学生のみなさん、ありがとうございました！



点滴についての説明



モデル人形で肺音の観察

在校生との交流も盛り上がりました！



5月29日、災害を想定した防災訓練を実施しました。訓練の後は、講堂で防災に関する講義を聴講しました。日々の訓練の重要性について再認識できました。



校舎周辺の清掃を行いました



8月、1・2年生で校舎周辺の清掃と草刈りを行いました。暑い中、頑張りました！とてもきれいになりました。



学校通信「たんぼぼ」は1981年の発行にあたって、勤看での学びをそれぞれの地で花さかせようという願いをこめて名づけられました。



インスタはじめました



@KINKAN_SAPPORO

HPのQRコード



〈編集委員〉
佐藤幸子 伊達深晴
久保田千香子

「長洲事件」と呼ばれる生活保護をめぐる裁判が現在、熊本県で行われています。生活保護を受ける祖父母と同居する孫が、自力で生活費と学費を賄い准看護師免許を取得し、働きながら正看護師課程に進学しました。そのことを知った行政は、世帯分離していた孫の収入を祖父母と一緒に合算し保護を廃止としたのです。孫は、経済的な理由から休学に追い込まれました。祖父は裁判に訴え一審判決では「孫が看護師免許取得するほうが経済的自立に資する」と、保護廃止は違法としました。しかし二審判決は「就労したのだから適法」として一審判決を破棄しました。貧しい家庭の子供は自分の将来の夢より、親族を支えることに人生を費やしなさい、と貧困の連鎖を固定すると宣告したのです。

どんなに努力しても夢はかなえられない、と裁判所から宣告された絶望を思うと心が痛みます。本来なら、祖父母を支えながら働き学び続けてきた孫を支援することが行政の役割ではないでしょうか。学び自分の人生を切り開いていくことは人権です。今度は最高裁で争われます。関心を持って注目していきたいでしょう。インターネットで応援する署名も取り組まれています。

(田沢)